

青く澄みわたった空、マリンブルーの海、これが宮古島か……。

陽射しは重いが爽快。湿度が低いからだろう。5月17日、宮古空港に着いた時の印象。——ここから、突然、日焼けした顔が多くなる。強壯な体格の男性、しなやかに健康的な女性たちがウキウキと躍動し始める。まるでオーケストラを奏でる音楽家たちにも似て……。当然、当然これからビッグイベントを創造する主人公たちなのだから———そう思えるのもあたりまえなのだろうか。

日常の多忙さから解放されて、逃れる様にして来たこの宮古島。やつぱり来て良かった。短い6日間だけど、命の洗濯が出来る。快く旅立たせてくれた家族、両親、そして仕事場の皆々に感謝、感謝。

かくして、自分にとって2度目のトライアスロンが始まりました。初めては昨年の皆生。マラソンの20kmで走れなくなり、25kmで歩くことさえ出来ない自分を経験しました。この度は、少しだけ走り込んで来たのだが……

前日、ホテルの中庭で高石ともやさんがミニコンサートを始めた。丁度居合わせたので腰をおろして歌った。そして一人ずつ自己紹介。ともやさんが、上手に一人ずつ個性を引出す。そこまでしなくても個性的な人もいる。人間っておもしろいなー。さまざまな人がいた。

レース日。快晴。波はおだやかにないでいる。風が少し強い。東の風だ。am8:00水泳スタート。またまた、サバの大群にまきこまれて、頭を2・3度なぐられた。浜と水平に泳ぎだしたところにやっとおちついた。1時間で水泳フィニッシュ。上位は40分で上がっていた。

トランジションは得意だ。N君と違い忘れ物もしない。バイクにまたがりさっそうとスタート。20kmあたりで皆としゃべりながらこいでいると、まんどころさんが抜いて行った。40kmあたりで調子が出て来た。遠藤栄子さんとしばらく並走したが、彼女はあまりにも遅いので先に行った。80kmあたりで足が張り始めたので、無理せずタラタラとこいだ。野に咲く花は美しく、私達におしみなく声援をくれた。自転車160位でゴール。

マラソン。2.5km毎にエイドステーションがあるので、休息が何度もとれて楽だった。5kmのラップが22分。何と、速すぎるのでおさえ気味に。10kmが53分。丁度いい。15kmあたりでトップとすれ違った。20kmは2時間。余裕をもって折返した。しかし、ここから先はあまり思い出せない。ただひたすらに足だけが動いていたようだ。コールは名古屋日赤の安藤Drと一緒にいた。10時間13分。総合174位。

帰路、かけがえのない経験をさせていただいた宮古島と、その人に感謝して空路につきました。私自身、何かふっきれたものがあり、命の洗濯となったようです。そして、再度この地に来れます様に。次は家族を同伴して行きたいなあ。……と夢はふぐらみます。

皆様ありがとうございました。